

製品名: Erk 1/2 (リン酸化 Thr202/Tyr204) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21169

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:44kD,42kD;Observed MW:44kD,42kD

抗原情報

遺伝子名	MAPK1/MAPK3 MAPK3;ERK1;PRKM3;Mitogen-activated protein kinase 3;MAP kinase 3;MAPK
別名	3;ERT2;Extracellular signal-regulated kinase 1;ERK-1;Insulin-stimulated MAP2 kinase;MAP kinase isoform p44;p44-MAPK;Microtubule-associated protein 2 kinase;p
遺伝子 ID	5594;5595
SwissProt ID	P27361;P28482
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

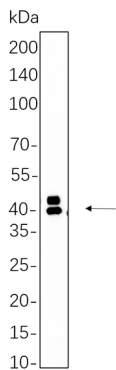
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は MAP キナーゼファミリーのメンバーである。MAP キナーゼは細胞外シグナル制御キナーゼ (ERK) としても知られ、様々な細胞外シグナルに応答して、増殖、分化、細胞周期の進行など、様々な細胞プロセスを制御するシグナル伝達カスケードにおいて機能する。このキナーゼは上流のキナーゼによって活性化され、核に移行して核内の標的タンパク質をリン酸化する。異なるタンパク質アイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Hela-2 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Erk 1/2 (リン酸化 Thr202/Tyr204) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。